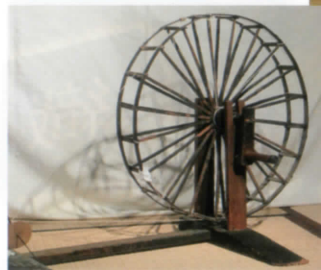


## 丹波布は手つむぎ、草木染め、手織り

明治末期まで丹波佐治の地で農家によって盛んに織られ愛用されてきました。京都方面へも佐治木綿(さじもめん)として売られ、多くの人に愛用されていました。栽培した綿を手でつむぎ、栗の皮やこぶな草など野にある草木で染め、手織りで仕上げ、緯糸(よこいと)に屑繭から取った少量の絹のつまみ糸を入れるのが特徴です。

この布が持つ経糸(たていと)と緯糸が織りなす、美しい縞模様は、糸の組み合わせにより柄は無数です。またすべて手作業で仕上げた織物は、貴重な存在となっています。



## ご利用のご案内

開館時間 10時～17時  
 休館日 火曜日(祝日の場合は翌日)・年末・年始  
 入館料 無料(但し講座・教室等は有料)



道の駅あおがき



## 丹波市立 丹波布伝承館

669-3803 兵庫県丹波市青垣町西芦田 541-1  
 TEL 0795-80-5100 FAX 0795-80-5100  
 E-mail aogaki-tambanuno@city.tamba.lg.jp



丹波市・丹波市教育委員会

丹波市立

# 丹波布伝承館

青垣の里に育ちし丹波布

この縞模様誰に伝えん





## 長期伝承教室

伝承館では丹波布の技術を伝えていくため、本格的な技法を学ぶ長期伝習生の育成を行っています。また更に技術を磨くための専修コースも設けています。

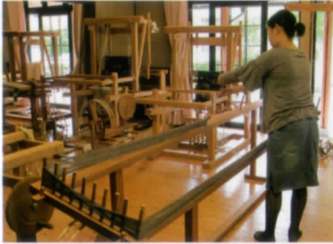
### 糸 紡



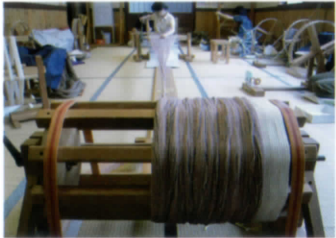
### 染 色



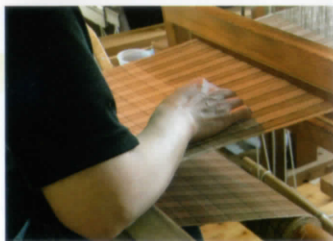
### 整 経



### ちきり巻き



### 機 織



## 短期教室

糸つむぎから染色、機織りまでの一通りを約5日間で学ぶ短期教室も行っています。織り上げた布は記念に。



## 販売コーナー



## 丹波布ミュージアム 丹波布のすべてがわかる

館内では丹波布の歴史紹介コーナーや草木染めの原料、媒染と発色のふしぎ、丹波布のいろいろな製品や、古丹波布などを展示しています。

新人創作展や丹波布色いろ展など企画展も開催。



糸つむぎ教室や染色体験など気軽に参加できる講座も開催しています。(要予約)